

平成 29 年 第 1 回

播磨高原広域事務組合 総合教育会議 会議録

招 集 場 所	たつの市中央学校給食センター 会議室
開 会	平成 29 年 6 月 26 日 (月) 10 時 30 分
出 席 者	管 理 者 栗原 一 教 育 長 中本 敏郎 教育長職務代理者 河野 雅晴 教 育 委 員 菅野 夏子、竹内 久美子
欠 席 者	副 管 理 者 遠山 寛 教 育 委 員 湯本 浩一
職務のため出席した者の職氏名	事 務 局 長 近藤 伸也 副 課 長 林 一志 主 査 小林 幸生
議 事 日 程	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開 会 2. 管理者あいさつ 3. 教育長あいさつ 4. 出席者の紹介 5. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) たつの市中央学校給食センターの概要について (2) たつの市中央学校給食センターの視察について (3) 平成 29 年度 主要事業について (4) 給食の試食について (5) その他 6. 副管理者あいさつ 7. 閉会

(10時30分 開会)

事務局長

それでは定例会に続きよろしくお願ひします。時間が少し早いですが、平成29年度第1回の播磨高原広域事務組合の総合教育会議を始めさせていただきますと思います。

まず、今日の会議ですが、副管理者の遠山上郡町長は、明日、告示ということで、公務もあり、欠席させていただきますという報告を受けております。ご了承の方お願ひしたいと思ひます。

それでは、開会にあたりまして、栗原管理者からご挨拶をお願ひいたします。

管理者

おはようございます。平成29年度の第1回目の総合教育会議ということでございまして、よろしくお願ひ申し上げたいと思っております。

今回は場所を変えさせていただいて、たつの市の学校給食センターで、開会をさせていただく訳でございますけれども、昨年9月から、一部たつの市が中学校の給食、配食できていないところが実はありました。同じ市内にありながら片方はお弁当とかですね。デリバリーという仕出し屋さんから出していただくような配食を、していただくという方法をとらせていただいていたのですが、同じ市内で格差があるというのは是正しないといけないということで、残りの中学校3校につきましても、ここから配食をさせていただきます、全小中学校への給食が可能になった訳です。今日のメインテーマは、29年度の主要事業ですが、そういう意味合いにおきまして、実は先程も確認しましたけれども、播磨高原東小学校・中学校に164食を配食していただいておりますのも、こちらからでございます。現場もご覧いただいて、子供たちにとって本当に安全・安心で健康的な、そして量的にも栄養的にも十分な物が配食されているかどうかを、今日は体感していただきたいということで、センターの概要と視察もさせていただくと同時に、試食もさせていただきます。先程、メニューをお配りさせていただきましたメニューで、ご試食いただき安全、安心を体感していただきたいというふうに思っております。

さらに、教育環境についてはご案内のとおり、色々と変化をしてまいっています。英語教育、道徳教育、それから指導要領もどんどん変化をしていっておりますので、我々も迅速に対応すると同時に、播磨科学公園都市を中心とした部分でいいますと、いろんな教育の集積度が高い所であります。色々な工夫の仕様が一番我々の圏域の中であると、上郡も含んであると思っております。そういう意味では、いろんな先駆的な取り組みができる場所であると思っておりますので、どうぞ皆様方のアイデアなどをご提供いただいて、注目を浴びるようなそういう教育現場にしていきたいと思っておりますので、ぜひご協力お願ひを申し上げます。

先程、局長の方からお断りがありましたけれども、是非、遠山町長さん

につきましては、お許しをいただきたいと思っております。私の方から、こういう日程になった事をお詫び申し上げて、是非、公務優先でこちらの方は私に任せていただきたいということで、ご了解をとらせていただいておりますので、どうかよろしくご理解いただきたいと思っております。以上でご挨拶とさせていただきます。

事務局長

ありがとうございました。引き続きまして、中本教育長からご挨拶をいただきます。

教育長

皆さん、おはようございます。先程の定例教育委員会に引き続きという事で、総合教育会議の方もどうぞよろしくお願いいたします。給食センターの事柄につきましては、この後概要等の説明もある訳ですけれども、私たちがこのセンターを造る前には上郡の千種川沿いにあります給食センターも視察をさせていただいて、非常に参考に色々な面でさせていただいた事を覚えております。その節は本当にお世話になりありがとうございます。また、市長が先程、教育の面で言われましたけれども、この地域につきましてはスプリング8もそうですが、新学習指導要領に関して言いますと、社会に開かれた教育課程という面で、そうしたスプリング8の方々あるいは地域におられる人材を非常によく活用して、学習等も進めている地域でございます。今後、ますますそういった部分を、伸ばしていかないといけないのかなと思っております。また忌憚のないご意見、そういった部分からも、今日、事業報告もありますけれどもお願いしたい事、それから小学校では、先程給食の食数の話の中にも出ましたけれども、昨年から比べますと小学校で15名ほど子供の数が減っております。95名、81名という数で、これから何年後というような見通しの中では、1桁になっていくような事も予想が立つ中で、そういった適正規模、適正配置について、たつの市は検討しているのですが、高原も含めましてその辺の事柄、今後、話題になってくるのかなと思っております。そういった部分もまた頭において、いろんな発言をいただけたらと思います。今日は一日どうぞよろしくお願いいたします。

事務局長

ありがとうございました。続きまして次第によりますと、出席者の紹介ということをおこなわせてもらっています。簡単に自己紹介をお願いしたいと思っておりますので、管理者からお願いします。

<自己紹介>

事務局長

それでは、5番の協議事項に入りたいと思います。ここからの進行については、議長を管理者をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

管理者

はい、それでは定めによりまして、議長を務めさせていただきます。着席をさせていただいて進めさせていただきますのでよろしくお願い致します。

まず、会議の各協議事項の公開・非公開につきまして、皆様方にお諮りをさせていただきたいと思えます。

播磨高原広域事務組合総合教育会議設置要綱第6条に基づき、本会は個人の秘密を保つ必要があるとき、会議の公正が害されるおそれがあるとき、又はその他公益上必要があると認める時以外は公開するものとなっております。播磨高原広域事務組合教育委員会会議規則に準じた形で行うこととします。

本日の協議事項につきましては、播磨高原東小中学校の給食の委託先であります、たつの市中央学校給食センターの概要について、そして更に視察について、次に平成29年度主要事業、更には給食の試食についてと、4つの事項を挙げさせていただいております。「個人の秘密を保つ必要があるとき、会議の公正が害されるおそれがある又はその他公益上必要がある」と認められないために、「公開」が適切であると考えます。

つきましては、公開に賛成の方の挙手を求めたいと思えます。

(挙手全員)

はい。ありがとうございます。挙手全員でありますので、公開という事で開催をさせていただきます。

それでは、次第に基づきまして協議事項に入ります。まず、(1)たつの市中央学校給食センターの概要について、更に、(2)たつの市中央学校給食センターの視察について、たつの市中央学校給食センターの所長から説明をしていただきます。なお、所長さんは、設置当初からの担当責任者でいらっしゃる、引き続き所長をお願いしておりますので、この施設の隅から隅まで全て承知しております。いかなる質問にも答えられるというふうに思っておりますので、よろしくお願いしたいと思えます。それでは所長さんよろしくお願ひします。

所長

<自己紹介>

給食センターの概要を説明させていただきたいと思えます。お手元に視察見学資料という事で、簡単な資料ですけども付けております。これに基づきまして説明させていただきたいと思えます。

まず1番、たつの市の概要については皆さんよくご存じですが、園児・児童・生徒の推移ですが、下の平成19年5月現在でたつの市の幼稚園・小学校・中学校ごとにご覧のとおり、696人・4,904人・2,335人という事で合計7,935人いたものが、今年の5月現在、幼稚園が293人・小学校

が4,175・中学校が2,181と6,649人という事で、10年間で約1,286人減少しているような状況です。

続きまして、たつの市中央学校給食センターの概要について説明させていただきます。昨年の7月に竣工しました。名称はたつの市中央学校給食センターといいます。施設の概要につきましては、3,265㎡で平屋建てです。ただこの下には、ピットと言いまして、僕らが歩いて通れるスペースが全面にあります。ですから見た目は、平屋ですが下に入れます。要は、もし管に何かあれば、穴を掘らなくても管が露出していますので、それに対応できるようになっており、いろんな所に入れる所が設けてあります。所在は揖西町小畑になります。ここは播磨龍野企業団地の6号地で、周りにはダイハツさんや辻製作所の企業さんがおられます。総面積は11,092㎡で、平地部分が9,500㎡で、のり面が非常にたくさんありますので、草刈には苦労しています。能力は1日4,000食という事になっております。2ページをご覧ください。事業の経過ですが、先程、管理者の市長からもお話がありましたとおり、市長が就任当初から中学校給食について、温かい給食を全ての中学生に届けたいと推進してきました。また、旧新宮給食センターと神岡小学校の老朽化が進んでおり、そちらの施設の補完的な意味合いも含めまして建設を進めました。経過については、26年度から委託しまして、28年7月に竣工しました。事業費は事業費計が約25億、内訳はその下に記載しているとおりで。

この特徴ですが、この後、見てもらって見える部分は、肉眼でよくわかるのですが、センター全てがこの見学通路から見えるわけではありません。その部分につきましては、15分程度のDVDにまとめておりますので、そちらで見えない所は確認していただきたいと思っております。DVDにまとめて、5つの特色があるという事で説明をさせていただきます。1つ目が安心安全な学校給食で、衛生管理の徹底、作業効率、作業環境の快適化を求めています。具体的には、従来のウェットシステムからドライシステム、要は水をジャブジャブ流さないように、床が乾いた状態のドライシステムを採用させていただいております。2つ目が多様な献立栄養バランスに配慮するという事で、最新の調理機器を配置しております。また後で詳しく説明はさせていただきます。それから3つ目が食物アレルギーへの対応という事です。ここには除去食、代替食と書いてありますが、今現在は、卵、牛乳を除去した除去食を提供しております。4つ目は、地産地消の推進と地域との連携です。保冷庫を設けまして、もう間もなく保冷庫にも野菜が入る段取りになっています。じゃがいもと玉ねぎを入れる予定にしております。5つ目が食育の推進です。先程申し上げましたとおり、見学通路ですとかここに調理台を配置できるようになります。それもDVDの中で、画像で説明させていただいていますが、実はこの中に調理台がしまわっています。それからコストの縮減として、上にソーラーパネル、それから下は夜間電力を利用したような機器を配置しております。また、エネルギーの

地産地消という事で、チップボイラーや太陽光発電を設置しております。

運営状況についてですが、職員の配置は、調理業務については業者委託しております。それ以外の業務については、臨時職員を含めまして正職、臨時職員を含めまして23人となります。県の栄養士さんは、規程で2人置かないといけないので2人置いています。直営・委託についてですが、先程も申し上げましたとおり、調理業務は東洋食品に、給食の調理業務の日本の一番大きな業者さんになります。県内ではそこに書いてありますとおり、神戸市・姫路市・尼崎市・明石市と言ったような所で、たくさんの市町村で業務委託をされております。従業員は現在38名従事しております。それ以外、調理以外の部分については全て直営で運営しております。次に受配校と食数ですがこの表のとおりです。当然、播磨高原東中学校・小学校も記載させていただいております。だいたいこういった形でやっておりますが、毎日いろんな欠食、学校行事等で食数が毎日異なっています。今日は、3,519食、皆さんの分も含めまして3,519食、ほぼいっぱいです。たつの市の場合、ここからの受配校の他、小学校9校が自校式、それから御津学校給食センターから、御津地域の中学校を除く小学校、幼稚園に配食しているような状況です。給食費につきましては28年度から、小学校が月額4,300円・中学校が4,500円・幼稚園は1食あたり258円です。それぞれ1食あたりが258.46、291.17で、小学校は年間183回を基本に、それから中学校は170回を基本にしています。当然、食べる回数がこれを超えることはないのですが、できましたらその分はお返しするようにしています。以上で当センターの概要の説明とします。先程から放送していますが、これは今、今日の分を作っていますが、明日、調理する分の業者さんが今食材を持ってきている状態です。当日の分でどうしても前の日に納められる物は納めますけど、当日の分につきましては、8時15分から30分間の間で納めてもらいます。朝の8時15分には必ず一番で牛乳が届いております。お肉は当日という事になります。今、業者さんが来られましたという事を、中の東洋食品さんの方にお知らせしています。先程の放送をしていた栄養教諭と、東洋食品の職員が納品された食材を確認することになっています。また、それもDVDの中で、どのように作業しているかという事を説明しております。今から見学していただきますが、後から質問をお聞きしたいと思います。申し訳ありませんが、玄関の方から順次説明させていただきますので、そちらの方に移動をお願いします。

管理者

はい。ありがとうございました。それでは移動をお願いします。

(視 察)

(DVD 鑑賞)

- 管理者 では次に移ります。主要事業のご説明をお願いします。
- 事務局長 主要事業について、事務局から説明をさせていただきます。特に新規事業と主な事業を説明させていただきます。
- 副課長 失礼します。平成 29 年度の主要事業という事で、教育費の抜粋と別冊の教育大綱を説明させていただきます。この表につきましては、教育大綱の基本目標、基本施策、具体的施策ごとに整理をさせていただいております。今年度につきましては、小中学校の給食事業という事で、給食センターに給食を委託させていただいているという事と食器類の更新という事で、4,195 千円を今年度増額させていただいております。
- 続きます。新規事業として、8 の学校施設、教育環境の充実ということで、小中学校共に教育 ICT 環境整備事業として、今年の 9 月 30 日で、小中学校のパソコンリースの更新がリースアップしますので、10 月 1 日から新しいリース契約となります。そのため、タブレット端末の導入を現在検討している所でございます。合わせて校務支援システムの導入について、上郡町は平成 28 年度に概ね完了されており、たつの市においては平成 29 年度の導入に向けて進められています。本組合につきましても 10 月 1 日のリース契約の更新に合わせてできるだけ見直し、公務支援ソフト、タブレット導入を現在検討しているところでございます。他の事業につきましては概ね継続というような形で、前年度とほぼ同額の予算措置をしているところでございます。最終ページで小・中学校の高圧受電設備更新事業として設備の更新を行う予定でございます。
- 管理者 はい、ありがとうございました。少し端折った説明でございますけれども、主に新規事業を中心にした今年度の主要事業について、ご説明をさせていただきました。何かご意見ございましたらご発言よろしくお願ひします。
- 管理者 タブレット端末は上郡町と高原とたつの市で、整備状況はだいたい平均的にうまくいっていますか。それとも差はありますか。
- 副課長 上郡町は 28 年度に概ねの整備が終わっています。
- 主査 上郡町は平成 28 年度にタブレットを、一応、文科省の指針が児童生徒の 3.6 人に対して 1 台でクリアするような形で整備が終わっています。
- 管理者 進んでいますね。
- 副課長 たつの市においては 27 年度から順次、29 年度・30 年度に向けて順調に

整備をされているところで、播磨高原が、実際今の時点では出遅れています。10月1日のリースの更新に合わせて何とか導入を盛り込んでいきたいと思っています。

管理者 わかりました。遅れないようにお願いします。

副課長 はい。

管理者 播磨高原の小中の近隣に、例えば上郡の金出地には小学校はないのですか。

副課長 鞍居小学校がありました。

委員 はいそうですね。学校は統合になりました。

管理者 統廃合ですか。

教育長職務代理者 赤松、鞍居、上郡が一つになりました。

管理者 そういふところと交流はできないのですか。何となく播磨高原だけぽつんとあるような感じがしますので、その地域の近くの、例えば西栗栖小学校と交流はできないのですか。

副課長 特別支援学級では新宮町の小学校と交流はしております。普通学級はしていません。上郡小学校との交流は無いです。

管理者 交流は無いのですか。

副課長 以前、遠山町長が中学校の出前講座等で播磨高原と、例えば上郡町とが合同でしたらどうだろうかというようなご意見を承ったことはありましたが実現はしていません。

管理者 いっその事、小中一貫を考えては。隣同士ですし。

教育長 前に兵庫県がそんな話の中で、どちらかを使って、一つの校舎で、みたいな話はあがっていましたが。

管理者 先に播磨高原が取り組んでは。隣同士にあるし、非常に施設一体型でしやすいと思います。

事務局長

実際に施設にしてもプールが2つあって、プールも水漏れしています。それだったら、小中一緒にプールは短期間で使用しますし、一緒に使えるようにできないか話をしてたりはしたんですが。

管理者

県の小中高一貫という事になると、うちの播磨高原東小学校を県の小学校にして、そういう考え方ですね。今、中高は一貫校になっているので、小学校をくっつけちゃうという構想ですね。それでは少し違和感があると。我々にとっては、中学校だけぽつんと残ってしまう。なんか変な格好になってしまいますね。組合が先に小中一貫校にすると、そういう議論はなくなってしまうかもわかりませんね。

教育長

単純に校舎が2つあるので。それが今言われたどっちかに。小・中にしたら、何十億という負債をその時に今管理者が言われた附属小にして、片一方は県が支払ってある程度やります。そちらはそちらで、みたいな話は出た事もあります。校舎が2つありますから。

管理者

とにかく小中一貫でレベルを上げて、県立附属小学校に負けない物を作るということです。

教育長

数は十分入ると思います。

管理者

何か特色を持たせ、兵庫県全県区から人を集めてもいいとか。これはちよつと行き過ぎかもしれませんが。

すぐに結論が出る問題ではありませんけど。冒頭で申し上げたのは何か試すっていうのは失礼ですが、先駆的な取組をしやすい場所ではあります。いろんな意味で、単に生徒数が減っていき、適正規模うんぬんというそういう考え方ではなくて、それを逆に生かしたような取組ができないかなど、皆さんに知恵を絞っていただきたいと思います。

委員

この間、東小学校の運動会を見せていただいたんです。小学校の様子というのは、あんまり見る機会がなかったので、全体として見せていただいて感じたんですが、私の感覚では最先端の街の中の小学校で、反対にアットホームな感じを受け、地域の方も入られて、良い感じの運動会だと感じました。ほのぼのとしてて良いんですけども、この子たちが今度、中学生・高校生になってどんどん外へ出て行った時に、この小さい中だけで仲良くやっていた。じゃあ外へ出た時にすごく戸惑われるんじゃないかなというイメージがあります。今、言われたように、どんどん外へ出る機会も作ってあげないと、大変じゃないかなというイメージも受けました。たつの市の小学生と上郡町の小学生がもっと交流する機会とか、もっと大きい授業を受けさせてあげるとかいう事をしてあげないと、ひよつとしたらど

んどん外へ出ていきたい子もいると思います。ためらいとか悩みとか出てくるんじゃないかなという印象を受けました。

管理者 ありがとうございます。

事務局長 外に出る機会が必要ですね。

管理者 そうそう。なんか孤独じゃないですが、孤高みたいな感じで。何かハイレベルな所で閉じこもってるんじゃないかと、そういう感じも受けないわけではないですが。

事務局長 たつの市と上郡町の教育委員会と連携して相談したいと思います。

管理者 学力も高いんですか。

事務局長 学力も年度で違います。

管理者 人数が少ないからですね。

副課長 28年度はちょっと中学校の方が平均に足りなかったですが、27年度においては、小中とも10ポイントくらい高くなっています。

教育長 28年度は小学校の時の上位にいた子が附属に行かれて、その中での平均をとったので、ちょっと下がったというようなことも起きます。

副課長 上位4・5人が県附属中学校に行った事が考えられます。

管理者 附属中学校に行ったって事ですね。レベルを高くしとかないと。地域の人から見捨てられないように。レベルの高い人のお子さんが多いという訳ですね。

副課長 そうです。

管理者 教育には熱心だと思いますが、そういう期待に応えられるようにしてあげないと。

他に何かご意見ございませんか。交流についてはまたちょっと検討してもらえますか。

事務局長 はい。

管理者 特に無いようでございますので、それではその他について、何か協議事項連絡事項ありませんか。特にないですか。

事務局長 こちらからは特にありません。

管理者 委員の皆様方から何かございせんか。それでは無いようでございますので、一先ず本日の協議事項を終わらせていただきます。引き続き、試食に移りたいと思います。試食をしながらでも何か思いつかれた事がございましたら、ご意見としていただいて結構です。

事務局長 それではお疲れさまでした。1回目の総合教育会議 閉会とさせていただきますたいと思います。次回につきましては、年に2回と言う形でしておりますので、11月頃の予定でまた近くなりましたらスケジュール調整をさせていただきますたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

